理事長　**岡本 浩幸**

ごあいさつ

皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。本年も地域の皆さまに当金庫をより知っていただくため、ディスクロージャー誌を作成いたしました。ご高覧のうえ当金庫へのご理解を一層深めていただければと存じます。

令和５年度を振り返りますと、世界経済は、各国中央銀行の金融引き締めによるインフレ抑制は進展が鈍く、ロシアによるウクライナ侵攻などの地政学リスクも長期化しており、不透明感、不確実性が継続しております。国内経済も、円安の影響で輸入原材料価格の上昇を招き、加えて人手不足等による賃金引上げが価格へ転嫁されるなど、長く続いたデフレ経済からの脱却の兆しも見える状況で、日本銀行はマイナス金利政策解除に踏み切り、金融緩和政策の転換点を迎えています。今後も国内外の金融経済情勢は不安定な状況が継続し、その影響は県内経済にも波及することが予想されます。一方で、世界的な半導体企業の熊本進出は、熊本県内に経済効果をもたらし、その波及効果は今後さらに拡大することが予想されます。

このような中、当金庫の令和６年３月期の業績につきましては、会員数２４，０５９名、預金積金２０６，９８７百万円、貸出金１０５，６４１百万円となりました。収益につきましては、業務純益４９６百万円を確保するとともに、当期純利益は４０６百万円を計上いたしました。また、経営の健全性の指標である自己資本比率につきましても、国内基準である４．００％を上回る１０．２０％となっております。

さて、当金庫はおかげさまで昨年１２月に創立１００周年を迎えました。これまでの地域の皆様の温かいご支援に心から感謝申し上げるとともに、次の時代に繋ぐ新たなステージの幕開けとなりました。中期経営計画の名称である「つなぐ」には、金庫の歴史を繋ぐという意味を込めており、現状に安住することなく、既成概念に捉われない発想で、新たなことに積極的に挑戦し、新たな時代を築いていく所存でございます。今後も地域経済及び地域のお取引先を守るために、環境や時代の変化に柔軟に対応し、地域やお取引先のニーズに適切に応え、しっかりとしたガバナンスのもと地域経済の持続的発展に鋭意取り組んでいく方針であります。

これからも「中央しんきん」は、皆様に寄り添い、ともに歩む金融機関として地域に貢献して参りますので、引き続き変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

令和６年７月